

テック インフラ Tech Infraだより vol.3

第5世代移動通信システム（5G） いよいよ始動へ

2018年10月19日

スマートフォンの利便性を支える4Gは「今のままでも困らない」。
 だけど、「困ったことになる」前に、次世代規格5Gの準備が進んでいます。

2018年から2020年に 世界各国で5Gが始動

ニュース等でも次世代規格5Gを見聞きする機会が増えています。2018年から2020年
 に向け、世界各国で5Gの商用利用開始が見込まれています。各国政府や企業が様々
 な準備（研究・調整・投資・開発等）を着々と進めるのには、相応の背景があります。

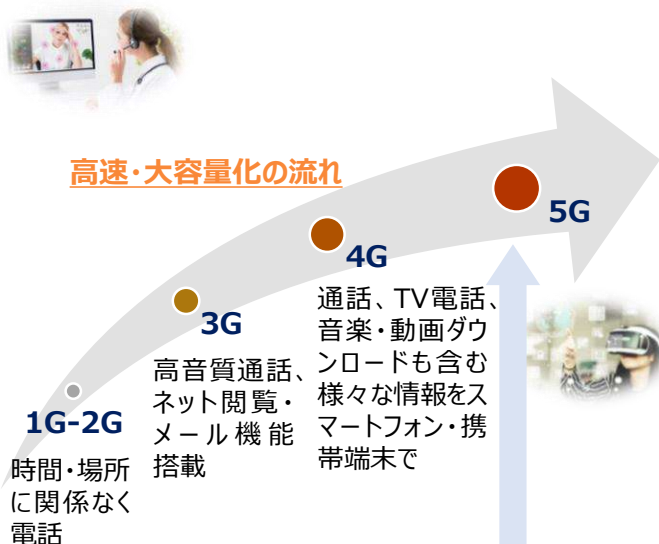
無線で送受信されるデータ 量の急増が背景

写真・動画の送受信、音楽・映像のダウンロード、クラウドへの保存。スマートフォンの登
 場・普及によって、無線で移動通信システムを介するデータ通信量は急激に増加しました。
 さらに、エアコンや防犯カメラ等の家電製品がインターネットにつながり、スマートフォンから操
 作する。そんな生活も身近になり、スポーツや工事現場ではウェアラブル端末で体温や心
 拍数等を収集し、リアルタイムでデータ送信するようなことも行われています。自動運転の
 ための各種データ送受信も近年中には実用化されるでしょう。

次世代通信インフラ整備 が急務

無線で送受信されるデータ量のさらなる増大に備え、次世代通信インフラ整備が急務と
 いう状況にあるのです。

移動通信システムの進化



5Gでは、インターネットに接続するすべての機器・
 端末で行われる、大容量の様々な情報伝達を高速処理

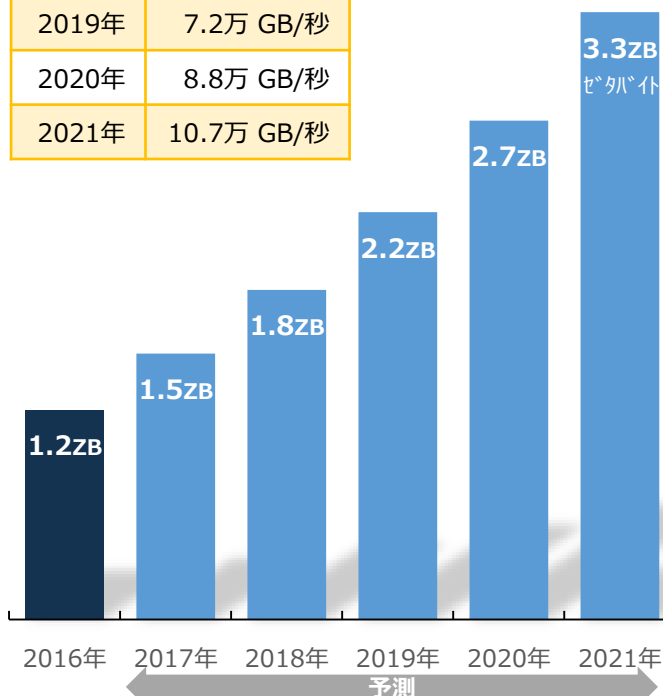
4Gと比べて5Gは

- 超高速・大容量 速度約100倍
- 多数接続 接続可能端末数約100倍
- 低遅延 通信遅延約10分の1

急増する世界のデータ通信量の推移

(ご参考) 1秒単位のデータ通信量

2016年	3.7万 GB/秒
2017年	4.7万 GB/秒
2018年	5.8万 GB/秒
2019年	7.2万 GB/秒
2020年	8.8万 GB/秒
2021年	10.7万 GB/秒



(出所) Ciscoのデータを基にパインブリッジ・インベストメンツが作成

ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会